

第 60 回 東海北陸保育研究大会 「岐阜大会」



日時

令和元年7月18日(木)、19日(金)

場所

長良川国際会議場、都ホテル岐阜長良川

●主催●

社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会、東海北陸ブロック保育協議会

●後援●

内閣府、厚生労働省

社会福祉法人 全国社会福祉協議会・全国保育協議会、全国保育士会
岐阜県、岐阜市、富山県、石川県、福井県、愛知県、三重県

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会、社会福祉法人 石川県社会福祉協議会

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会、社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

第5分科会

『子どものより良い育ちにむけた関係機関とのネットワーク』

会場：都ホテル 岐阜長良川 2F 漣の間A

子どものより良い育ちにむけ、乳幼児期を含めた保育所・認定こども園等から小学校さらに中学校との連携は、子ども一人ひとりの成長を連続的にとらえる視点として重要です。

また、新制度では各市町村で策定された「子ども・子育て支援事業計画（都道府県においては、子ども・子育て支援事業支援計画）」に基づき事業実施が行われ、各地域の保育施策の充実化にむけては、保育・子育て支援関係者と各地域の行政機関等との連携や、信頼関係の構築も一層大切となります。

さらには、子どもの貧困に起因する課題への対応、児童虐待予防、病児・病後児保育など、保育所・認定こども園等が単体のみならず、地域の関係各機関との連携・協働をもってすすめるべき取り組みは数多くあります。

社会福祉法人や社会福祉協議会、民生委員・児童委員等の子ども・子育て支援に関する事業者団体、当事者組織等の様々な組織・団体が互いに連携し合い、課題の解決にあたる共通の土台（プラットフォーム）を起点とし、個々の団体だけでは対応が難しい課題にも、より大きな力が発揮され、多様なニーズや課題に柔軟かつ迅速に対応することが可能となります。

本テーマでは、子どものより良い育ちにむけた、多様な機関との連携・協働のすすめ方や保育所・認定こども園等が果たすべき役割などについて、研究を深めます。

- | | | | | |
|---------|-----|--------------|-------|--------|
| 【司会者】 | 愛知県 | 明照保育園 | 園長 | 中島章裕氏 |
| | 岐阜県 | 養老町立日吉こども園 | 副園長 | 安部みな子氏 |
| 【助言者】 | 愛知県 | 岡崎女子短期大学 | 学長 | 林陽子氏 |
| 【意見発表者】 | 三重県 | 津市立立誠保育園 | 主任保育士 | 永合恵美子氏 |
| | 岐阜県 | 海津市立石津認定こども園 | 副園長 | 山田美穂氏 |
| 【記録者】 | 岐阜県 | 池田町立西保育園 | 副園長 | 坂口和栄氏 |
| | 岐阜県 | 海津市立今尾認定こども園 | 園長 | 馬場幾子氏 |
| 【幹事】 | 岐阜県 | 関ヶ原町立西保育園 | 園長 | 谷口悦美氏 |